

花と緑のネットワーク通信

No. 6 (2010年10月1日発行)

まちなかガーデン入門のご報告

8月3日、10日、21日、9月7日の4回にわたり、連続講座「まちなかガーデン入門」を開催しました。これから活動を始めようと思っている方や、地域でボランティアグループを立ち上げたばかりの方など18名が参加しました。

第1回目の講師は、北海道内各地の花や緑に長年関わってきた、有限会社緑花計画の笠康三郎さん。

「花のまちづくり」は「花を植えること」だけではなく、花を通して会話や交流が生まれ、活気を生み出し、まちをきれいにしていくこと。そして、豊かな緑があってこそ花がいきいきとし、街並みにとけこみ美しく見えると教えていただきました。道内各地の植栽写真を見ながら、それぞれの場所の特徴、地域の歴史、園芸の基礎



知識や活動に役立つしくみなど、広範囲にわたって「まちなかガーデン」づくりのアドバイスをいただきました。

第2回目からの講師は、花と緑のボランティア団体「グリーンエプロンズ」代表の狩野亜砂乃さんへバトンタッチ。さまざまな事例を紹介しながら、具体的な活動内容や工夫した点などをお話しいただきました。

狩野さんが関わった南区のまちなかガーデンは街路ます、道路残地、公園や福祉施設の敷地など、ガーデンの形態も活動の成り立ちもバラエティに富んでおり、実際に役立つノウハウも教えていただきました。

たとえば、ガーデンづくりをしたい街路ますや道路残地などがある場合は、町内会へ相談してみるとよいそうです。問合せ先がわかったり、地域の方々の理解が得られやすいなど、活動を始める助けになるとのこと。また、仲間がいると相談したり役割分担ができるので、いつも花の話をしているご近所さんを誘ったり、回覧板で募集するなど、身近な仲間を探すとよいそうです。そして大切なのは「頑張りすぎない」こと。植物も仲間の輪も、ムリせずゆとりを持って育み、みんなで活動を楽しむことが活動を長く続ける秘訣ということです。

第3回目は南区真駒内にある「エドウィン・ダン記念公園」を見学しました。大通公園の西1丁目から西4丁目までに相当する広さの公園です。「グリーンエプロンズ」は南区土木センターと協力し、正面入り口両脇の花壇のほか、二つの円形花壇の植栽・管理をしています。

まず、記念館でかつてここにあった真駒内牧牛場（後の真駒内種畜場）とエドウィン・ダンの歴史を学んでから園内へ。最初に向かったのは、ボランティア団体「落ち葉の会」の「腐葉土ヤード」です。花がらなどもここに集め、一緒に腐葉土づくりをしています。1～2年後にできあがった腐葉土を花壇へ戻すことで、処分や土壌改良の費用を節約しているそうです。



花壇では、多彩な植物を手入れの実演を交えながら説明していただきました。株分けで増やすことができ、あまり手間のかからない宿根草を多く利用し、定期的な活動は約2週間に1度。1時間弱の無理のない作業時間内で、次の活動日までの姿を想像しながら手入れをしているそうです。

最終回の第4回目は、二つのグループに分かれて、それぞれの花壇をデザインしました。課題となったのは、第3回目の講習で最後に見学した、現在手入れがされていない直径約3.5mの円形花壇です。みなさんで意見を出し合い、相談しながらテーマを決め、公園の植栽や園芸カタログなどを参考に、一つの花壇を作り上げてい



ました。約1時間半の短い時間でしたが、会話もはずみ、趣の違う二つの花壇デザインができました。

今回は花壇デザインまででしたが、この講習会の内容を参考に、みなさんの地域での活動に役立てていただければと思います。

(事務局：岩谷)

身近なまちなかガーデン * * * ます花壇

買い物や散歩の際に、通勤通学の道々で——私たちにとっていちばん身近なまちなかガーデンといえば、道路に沿って点在する街路樹ますや植樹帯を利用した「ます花壇」かもしれません。個人や町内会、団体、またはお店など担い手はさまざまです。実践事例などを中心にます花壇づくりについてご紹介します。（事務局：都築）

1 個人で

中央区在住のタウンガーデナー川口能子さんは、10年ほど前から自宅そば北6条通り沿いの植樹帯などに花を植えています。だれも手入れをしている人がいなかったため、雑草や石を取り除くところからはじめました。花を植えられる状態まで整えるのが大変だったそうです。好きな花を、好きなデザインで植えたいので、苗は自分でそろえています。犬のフンを放置したり、ゴミを捨てたり、花を持っていく人がいるのが悩みのタネです。注意書きをするなどしてそういったことが起こらないように工夫しているそうです。北6条通り沿いには個人でます花壇づくりをされている方が他にも数名いて、それぞれに個性的なデザインです。お互いに声を掛け合ったり、苗を分け合ったりしています。きれいにしていると周囲にどんどん広がっていくようです。高齢の方が多く、長く続けて行くためにも、いっしょに花壇づくりをしてくれる人を募集中です。



町内会で 2



北区在住のタウンガーデナー五十嵐秀子さんは幌北第1町内会で、10年ほど前からます花壇づくりに取り組んでいます。毎年土木部からマリーゴールドやベゴニアなど花苗助成を受ける一方で、不足する分は自分たちで採種して苗を育て、ますが花でいっぱいになるようにしています。

3年ほど前から町内のすべてのます花壇にキバナコスモスを植えるようになりました。夏の終わりから秋口にかけて、幌北第1町内会を囲む道路沿いは、キバナコスモスの鮮やかなオレンジが風にそよぎ、その下に赤、黄色のサルビアやマリーゴールドなどが元気に咲き、通る人の目を楽しませています。五十嵐さんをはじめ町内会の女性たちは、ます花壇をきれいにする活動をととても楽しんでいます。近隣の町内会にも活動をひろげて行きたいと考えているそうです。

3 団体で

札幌市内では、AMAサポーターズ倶楽部（東区）や芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会（南区）、平岡みどりの輪（清田区）、あいの里花クラブ（北区）などが、ます花壇づくりをしています。すでに会報で紹介していますが、それぞれに地域の歴史を生かしたり、行政や町内会、地元企業と連携して活動しています。

団体で取り組むには、仲間づくりや、活動を継続するための資材や資金を得るための工夫、意思決定の方法や活動日の設定・メンバー間の役割分担など運営のしくみづくりも大切です。「団体でます花壇づくりがしたい」という方は、すでに実践している方にお話を聞いたり、相談にのってもらうのがおすすめです。



まず花壇づくりをしたい人へ 4

最初の一步を踏み出してみる

まず花壇は町内会で管理しているケースが少なくないので、まず花壇づくりを始める際には、町内会に確認、相談してみるのがいいでしょう。すぐに了解が得られる場合もあれば、道路管理者に相談するように勧められることもあるでしょう。いずれにしても楽しく息長く花壇づくりをするには、地域の理解が欠かせません。

行政のサポート

道路は、国道、道道、市道と、道路の種類によって管理者が異なります。管理者によっては手続きが必要だったり、団体向けの支援をしているところもあります。

札幌市では区の土木部を通じて、町内会など地域の団体にまず花壇への植栽用に1年草の花苗や種子を助成しています。個人やボランティア団体で花植えする場合でも、町内会と連携して、この花苗を活用しているケースもあります。

国道を管理する北海道開発局には、ボランティアサポ

ートプログラムというしくみがあります。道路の美化などを実施するボランティア団体と開発局、自治体の3者が、活動内容や実施区間について協定を結びます。この協定に基づいて活動を進めていくことになりますが、ボランティア保険の加入費用の助成などが受けられる場合もあります。

こういった支援は、通常、活動の実現が確実で、継続性が見込まれる団体に向けて行なわれます。団体で取り組む場合には、具体的で無理のない実施計画をたてたり、まずは自分たちで活動実績を積み重ねていくことも必要かもしれません。

まず花壇づくりの心得

まず花壇は公共のスペースです。植栽と管理にも一定のルール（マナー）があります。交通障害になるような背の高い植物や、個人の利益に結び付くような野菜の植栽などは控え、気持ちのよい場になるように配慮したいですね。

♪ タウンガーテナーの声 ♪

連続講座 まちなかガーデン入門に参加して 相坂 栄一さん（豊平区）

このたび、町内会園芸クラブが結成されたことを機に、まちなかガーデンの考え方やデザイン設計を学ぶということで参加しました。とても有意義だったので少しばかり感想を述べさせていただきます。

✿ 宿根草主体でテーマ性を持つ ～第1回目

一般的に、個人の庭では樹木や宿根草の手入れをするが、一歩外に出たら植樹ますや空き地は我関知せずの状況です。個人の庭と植樹ます等の一体感を演出するため、三大一年草（マリーゴールド、サルビア、ペゴニア。札幌市のまず花壇に植栽される花の代表格）から脱して宿根草を主体にした花壇、テーマ性を持った植栽、メンテナンスの大切さを痛感しました。

✿ 活動ノウハウは「気長に楽しく」～第2回目

グリーンエプロンズの活動は、参加者の多様性を考えて自主性が育つよう、気長に無理せずにコツコツと楽しく進めているとのこと。特にグループのマークを作ったり、グッズで統一感・一体感を持たせることは、活動を楽しくさせると思いました。

✿ エドウィン・ダン記念公園の見学 ～第3回目

グリーンエプロンズの皆さんが創意工夫して作られた花壇は、公園入り口のアプローチから始まり、公園内円形花壇や、記念館への石階段脇のアナベル（あじさいの一種）を主体にしたテーマ性のある植栽に驚くばかりです。何度も立ち寄って散歩したい公園になっている気がしました。望みは高いが目標としたい姿に出会えたようです。

✿ 円形花壇のデザイン設計 ～第4回目

参加者が2チームに分かれて円形花壇のデザイン設計に挑戦してみました。高低差、花が咲く時期、彩り、見る角度、2年後のイメージを想像しながらデザインを完成させましたが、こればかりは実際の植栽に取り組んでみないとわからないというのが大多数の意見でした。植栽体験の要望もあり、ちょっぴり仲間意識ができたのが収穫かなあ。

わが町内会の「まちなかガーデン」づくりもこのように楽しく進めていきたいと切に思いました。

コンテナガーデンづくりに参加して

上井 祐子さん(北区)

さっぽろタウンガーデナーになって初めてのプロジェクトが札幌市役所前のおもてなしコンテナのボランティアでした。AMAサポーターズ倶楽部の走川貴美さんのご指導でコンテナのデザイン、植栽、一斉メンテナンスを行いました。私はガーデニング初心者で本やインターネットからの知識しかなかったので具体的に教えてもらってとても勉強になりました。3人一組になって1つのコンテナを担当したのもやり易く、5つのコンテナを同じデザインで作ってもそれぞれの個性が出て面白いと思いました。できればコンテナに土を入れる段階から手がけられたらもっと良かったのではないかと思います。

今年はAPECの開催もあり、市役所を訪れる多くのお客様に見ていただくことが出来てとてもやり甲斐がありました。一方、いつになく過酷な夏だったので花を常に良い状態に保つのは大変でした。また公共の場所に花を植えることの苦勞もわかりました。大通方面に出かけた時はわざわざ市役所に寄ってコンテナの花を眺めて楽しませていただきました。このような機会を与えていただいたことを嬉しく思います。



インフォメーション



篠路文化祭に「秋桜」が出店します

北区篠路で活動するボランティア団体「秋桜(コスモス)」が栽培した花などを利用したドライフラワーのアレンジメント、タネや球根を販売します。売り上げは活動資金となります。会場では、他サークルの作品展示やバザー、喫茶コーナー、地元野菜即売会、舞台発表などもあります(日によって内容が変わります。詳しくは会場にお問合せ下さい)。

◆開催日時: 10月8日(金) 10時~16時

10月9日(土) 10時~15時

10月10日(日) 11時~16時

※「秋桜」出店は9~10日の2日間(売切れ次第終了)

◆会場・問合せ: 篠路コミュニティセンター

北区篠路3条8丁目11-1 TEL011-771-3700

※「秋桜」の出店についての問合せは以下にどうぞ

TEL011-771-3043(春原/すのはら)

一般財団法人セブン-イレブン記念財団 2011年度公募助成

環境市民団体の活動を支援する「セブン-イレブン記念財団」では、環境市民活動助成(活動助成、自立事業助成、広域連携促進助成の3種)、地域美化活動助成(緑化植花活動助成、地域清掃活動助成の2種)の助成申請を受付中です。

◆応募期間: 2010年10月1日~11月30日(当日消印有効)

※応募には専用申請書が必要です。ホームページでダウンロード、またはファックスや電話で請求できます。請求の際には、団体名、送付先郵便番号・住所・氏名・TEL、申請する助成名を明記またはお知らせください。

◆問合せ・専用申請書請求先

一般財団法人セブン-イレブン記念財団 助成担当

UPL <http://www.7midori.org/>

FAX 03-3261-2513(終日受付)

TEL 03-6238-3872(9:30~17:00 土・日を除く)

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況

(2010年10月1日現在)

さっぽろタウンガーデナー (263名)			
中央区	28名	北区	56名
西区	16名	東区	42名
豊平区	18名	南区	22名
白石区	10名	厚別区	28名
清田区	11名	手稲区	25名
その他	7名		
花と緑のボランティア団体 (全19団体)			

イベント案内やボランティア募集など、掲載希望の情報がありましたら、事務局までご連絡下さい。

【発行・編集】さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階

財団法人札幌市公園緑化協会内

TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577

E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp

<http://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>

